

イザヤ 7:1-14

礼拝説教より「イエスさまにおんぶにだっこ」

それゆえ、主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。(7:14)

しるしを求めないアハズ王は、一見信仰深く見えますが、すでに自分の知恵により守ってもらう策を講じていました。しかしそんなアハズに対して、それでも神は語るのです。

経済的に豊かであっても、自殺をする人が絶えないこの世にあって、聖書の神様は、本気で関わりたいと思っておられます。この神が、クリスマスに生まれてきて下さった。これは、いかに神が本気であったかを表しています。神様は私たちと歩むことをあきらめない。私たちの方でも、イエスさまにおんぶにだっこの生き方を選ぶとき、主の恵みを豊かに味わえるでしょう。

「もし神が冷蔵庫を持っているとしたら、あなたの写真がそこに貼られていることでしょう。」(マックス・ルケード)